



## 献辞

著者	松尾 聿正
雑誌名	関西大学商學論集
巻	37
号	3-4
発行年	1992-10-25
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10112/00019817">http://hdl.handle.net/10112/00019817</a>

## 献 辞

寺尾晃洋先生は、平成5年1月26日に古希の寿を迎えられ、同年3月末日をもって関西大学を定年退職されることになりました。

先生は、昭和30年（1955）4月に関西大学講師に就任されて以来、現在に至るまで長きにわたり、研究・教育はもとより、大学行政にも心血を傾注されました。研究面ではその主力を水道事業の諸問題におかれ、また公企業論の講義をつうじてその学殖を教育面に傾けられるとともに、4カ年にわたる経済研究所所長をつうじて、本学の研究水準の充実・発展のために大変ご尽力下さいました。その間、商学部長、大学院商学研究科長、法人の評議員をはじめ、数々の役職を歴任されることにより、大学行政に尽瘁されました。

学外においては、公益事業学会理事、国際公共経済学会理事として、斯学の発展に多大の寄与をなしてこられ、また京都市交通事業審議会委員、大阪府、吹田市、東大阪市、堺市、摂津市、豊中市、川西市（兵庫県）、及び大山崎町（京都府）の水道事業審議会委員として、地方自治体の発展に絶大なる貢献を果たしてこられましたことは、多くの人の知るところであります。先生の功業はまことに大なるものがあると申さなければなりません。

先生は人格円満で、その端正・温厚なお人柄のうえに、大学・学問の将来に対する真摯な姿勢は万人の敬慕するところであります。先生のご退職はあたかも一本の柱を欠いたようで、まことに淋しいかぎりです。しかし、われわれは先生が本学に残された大きな足跡を踏みしめて進んで参ります。

先生が今後ともますますご健勝で南山の寿を重ねられ、後進の育成にご活躍下さいますことを心からお祈り申し上げます。われわれは先生のご足跡を回顧し、感謝の意を表明すべくここに『関西大学商学論集』の特別号として祝賀論文集を刊行し、本学商学部発展の一里塚たらしめることにいたしました。執筆者一同に代わり記念号献呈の辞といたします。

平成4年10月15日

商学部長 松 尾 隼 正